



# 生命の炎 いのち



LINE公式アカウント  
登録お願いします!

<http://www.fureaico-op.info>

生協の現況(2021年11月末日現在)  
組合員数=16,965名 出資金総額=498,020千円

●発行所: 東京ふれあい医療生活協同組合  
〒114-0004 東京都北区堀船3-31-15  
電話 (03)3911-3630  
●編集: 『生命の炎』編集委員会 ●発行人: 百瀬 文也



新年あけましておめでとうございます

2021年-2022年 合併号 No.505

新年あけましておめでとうございます。2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの人々が日常生活に大きな変化を感じた年でした。しかし、それでも人々は希望と前向きな気持ちで、地域社会を支え合ってきました。この一年で得た経験や学びを活かし、より良い社会を目指して活動を続けてまいります。

新年の抱負として、より健康で元気な毎日を過ごすため、運動習慣の確立や食生活の改善、精神的・身体的健康の維持管理など、自分自身の健康管理に注力していきたいです。また、地域社会への貢献活動も継続して実施していく予定です。

最後に、皆様へ心から感謝の意を込めてお伝えします。2022年も、東京ふれあい医療生活協同組合と一緒に、より良い社会をつくるために努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2020年の日本のGDPは約5%縮小（人々の行動が変わり、政府による人命を救うための施策の結果です）。アメリカとイギリスの死者数は人口比で日本の16倍。日本では多くの人がお金より健康が大切・重要なことを学びました。技術革新で成し遂げてきた進歩は素晴らしいものがありました。強力な感染症に対しても私は極めて弱い存在でした。戦後急速に長寿化を達成した日本では、少子高齢化社会に襲い掛かり多くの高齢者が犠牲になりました。昨年も第3波以降、社会と経済の混乱、保健所機能ダウン、コロナ病床不足による在宅療養と在宅死という不幸に見舞われました。

2020年に一度の感染症パンデミックで人類は多くのことを学びました。技術革新で成し遂げてきた進歩は素晴らしいものがありました。強力な感染症に対して私たちにはとても弱い存在でした。戦後急速に長寿化を達成した日本では、少子高齢化社会に襲い掛かり多くの高齢者が犠牲になりました。昨年も第3波以降、社会と経済の混乱、保健所機能ダウン、コロナ病床不足による在宅療養と在宅死という不幸に見舞われました。

令和四年

## 新年の 理事長挨拶



ひじや さとし  
**土屋 悟史**

## 「梶原deふれあい健康マルシェ」開催

昨年11月6日、7日に「梶原deふれあい健康マルシェ」が梶原診療所前の駐車場を借りて開かれました。新型コロナの感染が拡大してから1年7か月ぶりの開催となった今回のイベントは、人々の再会の場として位置づけて取り組みました。

### 賑わい

6日は朝9時からスタッフ・出店の皆さんが出店の準備をしました。13時になり、いざ開店!私は野菜の販売を手伝いました。直ぐに人が集まり、並ぶ野菜や果物を手に取り買ってくれます。「梶原に八百屋さんが無くなったから助かるわ」と喜ばれました。

ちょっと目を合わせて、過ぎ去ると振り返った女性がいました。「石倉さんでしょ?」5年前に町内から近くの公団に移ったAさんでした。懐かしくて売り子を忘れ、話しあいました。

団地住まいのOさんは「中村屋さんも閉店しちゃって何気なく人と会える機会が無くなっちゃったのよね」と残念がっていました。

数年前に店舗を営んでいた焼き鳥屋Nさんが声をかけてくれました。お元気な様子に「またいつか鳥を焼いてくださいね」とお願いしました。

マルシェは人が寄り合う広場でした。

### 理事 石倉 健一



### フードドライブの取り組み

### 理事 前澤 順子

家庭で余った食品を募り、必要な人に届ける「フードドライブ」は、今では様々な場所で行われるようになりました。今回のマルシェにおいて、私たちも取り組んでみました。コロナ禍で、従来の食事会活動ができなくなったボランティアサークル「虹の会」が担当しました。

初めての試みで、かなりの不安がありましたが、多くの品物が集まりました。インスタントコーヒーや缶詰など、すぐに役立ちそうな物が多く寄せられました。商店街の方やわざわざ家に戻って持ち込んでいただいた方、スタッフなど24名の協力がありました。皆様ありがとうございました。いただいた品はフードパンtryで活用させていただきます。



今回の活動が継続できるようにと思います。

## 各団体・個人のみなさまご協力ありがとうございました

王子消防団第一分団、東京都立大学、地域包括支援センター、東京土建北東分会、三王堂薬局、花キャンモア、山野辺様・黒須様、山本様(野菜販売)、虹の会(フードドライブ)、健康づくり委員会

三五年間、梶原診療所で診療にあたり、また組合員さんと共に地域の健康づくり活動に尽力いたしました。  
神田先生がこの度定年退職することになりました。

二十年前にご両親の介護の為、故郷の長野に転居されましたが、その後も新幹線通勤で東京ふれあい医療生協の諸活動を支えていただきました。東京を去るにあたり「生協と共に歩んできた三五年」を振り返っていただき寄稿いただきました。また神田先生の趣味であつた自作の版画も掲載しました(掲載した版画はすべて神田先生の作品です)。長きにわたりありがとうございました。

# 神田先生ありがとうございました

## 生協とともに歩んできて



梶原診療所内科医

**神田 光悦**

20周年記念誌（小  
生の趣味の一つ版画  
の表紙）に掲載の'88  
年保大卒業記念写真

を見ています。私も  
含め、皆若い！30数

年経過しており、中

には懐かしい顔も見受けられ、時の流れを感じます。

学生時代から付き合いのあった齊河美恵(現在の妻)は、私よ

りいち早く、看護師として、'85(S 60)年、梶原診療所に赴任し、当

時の理事長渋谷一郎氏のアパートに住んでいました。

私は、'86(S 61)年、出雲から姫島4丁目に転居。当初、私はしば

らく、気ままな都会生活を望んでいたのですが、渋谷氏から、2

人バラバラでいるのは不健康だから、早く結婚して、同居しなさ

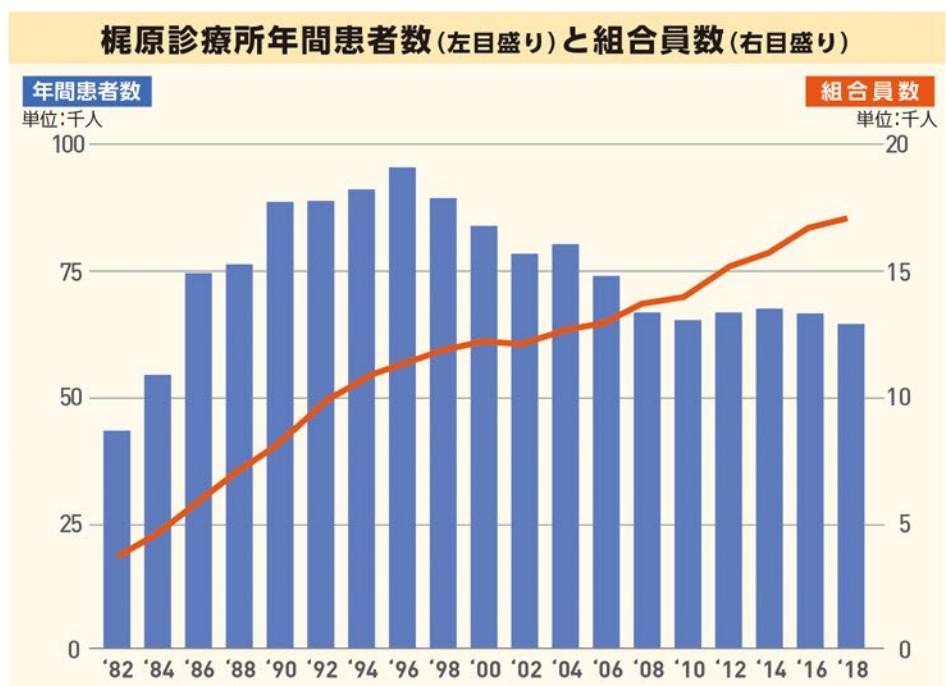
いとの事で、その年の7月に結婚。他の病院で研修後、'87年から、

梶原診療所にいました。

私は、'86(S 61)年、出雲から姫島4丁目に転居。当初、私はしば

'91年、労働旬報社から「大腸がんにならない食生活」という本の出版依頼があり、外科の穂積高弘医師(現在、駒込病院整形外科部長)と内科医3人で、執筆しました。

当時、国鉄を退職した組織担当者は、赤羽、滝野川、西ヶ原、西尾久と、精力的に組織拡大を実施。この活動で、西尾久地域での組合員が増加し、宮の前診療所開設('92年6月)につながります。地域で、核になる人を見つけ、班長に就任させ、その周りに集まつた人を組合員にする。組合員になった人は、診療所を利用し、患者さんとなる。「親切で、いい診療所だから」と、周辺の人々に話をする。その噂を聞いた人が、診療所を利用する。'94年、組合員数は1万人に、'96年、年間患者数は約9.6万人に達します。(グラフ参照)



阿波踊り  
(健康まつりにて)

## 糖尿病友の会

私が、診療所に来たばかりのころは、糖尿病の患者さんが多くいましたが、食事・運動療法の必要性に関して、忙しい外来診察時間内に説明することは不可能に近い状態でした。'92年から毎

## 保健大学(保大のちに保健講座)

高血圧、動脈硬化、癌などの病気の学習。血圧測定、検尿などの実習。10回ほどの講義を受け卒業すると「保健委員」さん。

地域では、保健委員として、機関誌の配布、班会の準備、出席者の血圧測定など。近所の人々を班会に誘つて、組合員になつてもうう。広がる人ととの輪。

ゴキブリ団子、廢油石鹼や味噌作り。地域に飛び出して「青空健康チェック」、健康まつり。若輩者の30歳代の私は、圧倒されるばかり。'88年10周年記念、福島旅行。行きのバスの中で、生協のシンボルでもある虹が見えたのが、印象的でした。'91年から、職員主導の開催から、保大運営委員会が結成され、自主運営に移行します。自分たちの力で、保健委員を育成するスタイルが確立します。

## コロナ禍での生協活動

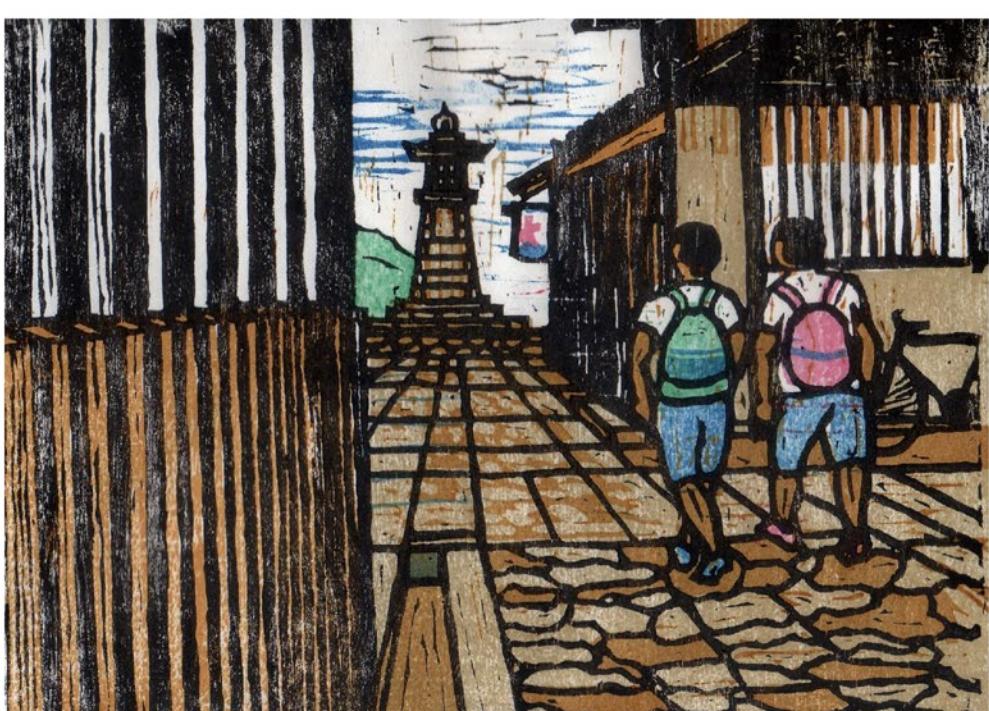
月1回、患者さんを集めて、糖尿病教室がスタートしました。毎回、十数名の患者さんが、集まりました。糖尿病の話、検尿実習、食事療法の話。1~2年経過したところで、出席した患者さんの中から、中心的な人が集まり、糖尿病友の会「藤花会」を結成。

この会では、食事会、新年会・忘年会、七福神巡りなど楽しい企画が行われました。

'17年、会員の高齢化などあり、残念なことに、解散となりました。



弁天さんのしだれ桜(長野県須坂市)



鞆の浦(広島県福山市)



銀山温泉(山形県尾花沢市)



太宰治 斜陽館(青森県五所川原市)



大町雪景色(長野県)



妻籠宿(長野県木曽郡)

「虹の声」の箱  
ご活用ください!



**診療所より** 「虹の声」の箱を活用ください。地域に密着した診療所に心から感謝いっぱいです。「予約票」の医師の伝達メモ欄を活用させていただいているが要点をどうえた説明ありがとうございます。お忙しいとは思いますが、年に1回でも先生方のお話し(講義)が直接聞けたら素晴らしいこと思います。よろしくお願いします。

**声** 「組合員として40年間お世話になっています。地域に密着した診療所に心から感謝いっぱいです。「予約票」の医師の伝達メモ欄を活用させていただいているが要点をどうえた説明ありがとうございます。お忙しいとは思いますが、年に1回でも先生方のお話し(講義)が直接聞けたら素晴らしいこと思います。よろしくお願いします」

今回は3件声をいただきました。「虹の声」の箱に投書していただいたその中の1件を紹介します。

# 掲示板 利用委員会

梶原診療所



## 植物紹介⑫

### クコ (ナス科)



秋になると赤い実が目立つ。河岸や河原、林のへりなどに生える。私の母は、糖尿病に効くと言って葉を煎じて飲んでいた。赤い実をラーメンに入れて色どりを楽しむ向きもあるが、焼酎に漬けてクコ酒にする。アルカロイドをふくみ強壮剤となる。

(中谷)

## 健康づくり委員会

### 掲示板

#### 「健康づくり講座」再開!

コロナ禍で中断を余儀なくされていた「健康づくり講座」を再開しました。再開第1回は11月26日に行われ元梶原診療所薬剤師の前澤順子氏に「上手な薬の飲み方」のテーマでお話しいただきました。



#### 次回健康づくり講座

#### 「ぴんしゃんこりの里づくり」

講 師	土屋 悟史 理事長
場 所	ふれあいセンター
日 時	1月19日(水) 14時~
参 加 費	無料

#### 申込み先

東京ふれあい医療生活協同組合 組織部

**☎03-3911-2005** (一石)

受付時間:午前9時~12時、午後2時~5時

## 2021年度 理事会 から

### 1. 経営状況

2021年度10月

総 収 益	1億2,388万円
当 期 利 益	1,284万円
現 預 金 残 高	2億6,203万円
総 資 本	15億3,023万円

2021年度4月~10月累計 総 収 益	8億3,309万円
当 期 利 益	4,954万円

### 2. 組織活動

生協強化月間では多くの方から出資・支援をいただきました。心より御礼申し上げます。

### 3. 事業方針検討

道路拡張に伴う生協ビル解体等について検討中。一部事業所の移転を計画。組織部は12月末~1月上旬に梶原商店街中ごろに事務所(旧梶原商店街事務所)に移転します。

## 約2年ぶりに健康づくり委員会を開催!!



新型コロナ感染拡大に伴い、活動を自粛してまいりましたが、約2年ぶりに委員会を開催することができました。地域の皆様の健康づくりのお役に立てるよう頑張ってまいります!!

## 上中里支部 出資拡大訪問を始めて50年!



堀江としさん(写真右)御年92歳、2年ぶりに小規模ですが上中里支部として出資拡大訪問を行いました。

堀江さんの笑顔でみんなを元気にしてくださいました!!

## 健康づくり委員会 廃油石鹼づくり開始!



約2年ぶりに廃油石鹼を作ることができました!! 久しぶりの作業でしたが、とても良いものができたと思っています。完成するまであと2ヶ月程度かかるためもうしばらくお待ちください。よろしくお願ひいたします。

ご意見・ご質問・紹介したい記事などございましたらお気軽にお寄せください。

宛 先 東京ふれあい医療生活協同組合 機関紙編集委員会  
〒114-0004 北区掘船3-30-16

TEL 03-3911-2005 FAX 03-5944-6015

ワード等で作成したデータをメールで送っていただいても構いません。その際は右記メールアドレスまでお送りください。

MAIL soshiki@fureaico-op.com

〆 切 前月の第1月曜日まで。

(3月号に掲載したい場合、2月の第1月曜日までに原稿を送ってください。)

※必ず原稿を送る方の名前、住所、連絡の取りやすい電話番号を記載してください。

